

鐵と鋼第十六年第一號論說中正誤表

本邦製鐵鋼業の發達及現狀

頁	行	誤	正
8	Table G, 石炭の分析、成分中	窒素 含水素 結水 酸素	窒素 可水 働素 結水 酸素
13	下より6行目	同商會は皇紀 2,571 年 (西曆 1911 年	同商會は皇紀 2,581 年 (西曆 1921 年
"	" 4 行目	2574 年) (西曆 1914 年) 之を中止し、	2584 年 (西曆 1924 年) 之を中止し、
"	" 3 行目	八幡製鐵所に於ては 2,574 年 (西曆 1914 年)	八幡製鐵所に於ては 2,584 年 (西曆 1924 年)

本邦平爐の構造研究竝に日獨鹽基性平爐の比較

頁	行	誤	正
26	右 段 3-4 行	訂成表を含む)	訂正表を含む)
30	下 から 11 行	(No. 7)	(No. 6)
33	上 から 8 行	及び面積は本邦の方が大きい)。	及び面積は本邦の方が小さい)。
36	上 から 9 行	中心に於て狭む角度	中心に於て狭む角度
38	脚註下から2行	CO ₂ , C ₂ , CH ₄	CO ₂ , CO, CH ₄
44	右 段 3 行	發生爐瓦斯 1 立米發熱量	發生爐瓦斯 1 立米發熱量 (Kcal)
"	中央部の表	混和瓦斯 1 立米發熱量	混和瓦斯 1 立米發熱量 (Kcal)
50	文 章 7 行	氏記す所	氏の記す所
58	下 から 2 行	當 1.39 噸 (=2.09/1.5) 獨逸は 1.33 噸 (=2.00/1.5)	當 1.25 噸 (=2.09 × 1.5/1 + 1.5)、獨逸は 1.2 噸 (=2 × 1.5/1 + 1.5)
59	上 から 1 行	本邦約 12 平方米 (=17/1.39)、獨逸は約 15 平方米	本邦約 14 平方米 (=17/1.25)、獨逸は約 17 平方米
"	" 2 行	(=20/1.33) となる。	(=20/1.2) となる。
"	" 7 行	(煉瓦重量 1.33 噸)、獨逸では 20 平方米 (煉瓦重量 1.33 噸)	(煉瓦重量 1.25 噸)、獨逸では 20 平方米 (煉瓦重量 1.2 噸)
64	本 文 1 行	操業時時	操業時間
67	下 から 12 行	第 11 節タルボット炬に就て	第 11 節タルボット爐に就て
69	" 4 行	然燒消費量	燃料消費量
71	" 12 行	(ロ) 熔鋼最深部の深さは獨逸の方が一般に深い。	(ロ) 熔鋼最深部の深さは 25 噸型以上の爐では獨逸の方が深い。
"	" 8 行	幅は長く高さは高い。	幅は長く高さは高い (第 2 章第 5 節参照)。
"	" 1 行	同噴出口面積は裝入量の	同噴出口面積は概して裝入量の
73	上 から 1 行	獨逸の爐は大體に於て一定して居る。	獨逸の爐には此關係がない。
"	" 3 行	本邦に於ては裝入量の大きい爐程	本邦に於ては 35 噸型を除いて裝入量の大きい爐程
"	" 5 行	裝入量の小さい爐程大きい。	概して裝入量の小さい爐程大きい (但獨逸空氣格子積の例を除く)。
"	" 7 行	小さい爐程多い。	小さい爐程多い (但獨逸 80 噸爐は石炭發熱量過少の爲例外)。
"	" 8 行	1 平方米當出鋼量は	1 平方米當出鋼量は概して
75	" 1 行	附表	附表 (74 頁附圖参照)
"	第 4 列 4 行	附圖符號 b	附圖符號 b
表	紙 英 文	Gernan	German

同 表 中 の 正 誤 表

頁	行 又 は 位 置	誤	正
30	第 1 表 本邦平爐番號 20. 裝入量	25	15
"	型別平均表 10 吨型、平均爐數、本邦	9	2
31	第 2 表 本邦平爐番號 22. 長/幅	2.0	2.1
"	" " " " 裝入量吨當面積	1.25	1.26
33	型別平均上表 25 吨型、爐床の長さ、獨逸	5,133	5,633
"	" " " " 爐床面積、獨逸	15.30	13.30
34	第 3 表 獨逸平爐番號 24. 熔鋼面積	38.94	38.64
39	第 7 表 獨逸平爐番號 13. 裝入量	90	60
46	第 10 表 獨逸平爐番號 16. 空氣上昇道横斷面積	0.427 × 2	0.457 × 2
"	" " " 19. 裝入量吨當瓦斯上昇道面積	0.0038	0.0083
"	" " " 28. 裝入量	48	42
47	型別平均上表、60 吨型、空氣上昇道横斷面積、獨逸	0.694	0.994
51	第 12 表 獨逸平爐番號 2. 格子積容積	62.8	62.80
"	" " " 3. "	57.5	57.50
"	" " " 21. "	50.40	56.40
52	第 13 表 獨逸平爐番號 9. 蓄熱室容積	29.30	92.30
"	" " " 22. 格子積容積	75	79
"	" " " 蓄熱室容積		
53	第 14 表 本邦平爐番號 1. 受熱面積	541	514
"	" " " 4. 裝入量	58	56
"	" " 獨逸平爐番號 20. 瓦斯及空氣格子積煉瓦厚さ	100	60
"	" " " 32. 格子積容積	40.48	40.84
"	" " " 37. 瓦斯及空氣格子積煉瓦厚さ	80 及 90	80 及 100
54	第 15 表 獨逸平爐番號 7. 格子積容積	115.60	113.60
60	第 17 表 " 46. d_2	1,200	1,350
"	" " " 47. "	1,350	1,200
63	上表、15 吨型、獨逸、石炭より算出 (A)	2,025 (2)	2,025 (1)
64	第 19 表 獨逸平爐番號 15. 裝入量	50	59
"	" " " 23. "	44	54
65	第 20 表 第 4 列、見出し 1 行目	1 時 間 當 床	1 時 間 爐 床
"	" " 本邦平爐番號 5. 裝入量	60	50
67	第 21 表 左側 14 行目	瓦斯噴出口	空氣噴出口
69	最 下 表	平 均 2.201	平 均 2,201
70	第 22 表 瓦斯噴出口傾斜角度、昭和 2 年調査、50 吨型、	2°	29°
"	" " 爐の型 (吨) 昭和 2 年調査	50 25 25	50 25 10
"	" " 爐床、吨當面積 " 10 吨型、	0.09	0.90
72	第 23 表 爐床、長/幅、獨逸 45 吨型、	4	2.4
75	附表 平爐寸法表爐番號 16. 天井圓弧が中心に於て挟む角度	41'	41°
76	附表 平爐寸法表爐番號 30. 煙突のドラフト	82	28

窒化鋼の單極電位差に就て

頁	行	誤	正
79	12	Containing no elements	containing no elements
79	36	弱き δ を線	弱き e 線
80	13	Chemical Analyses.	Chemical Analyses,
81	2	425 立	425 立
81	9	(b) OI 規定	(b) OI 規定
(挿入)	81	之を圖示した。	之を圖示した。(測定には Leeds and Northrup の Potentiometer を用ひた。)
81	20	Various Steels. Nitrided or Not.	Various Steels, Nitrided or not,
(消し)	86	窒化鋼は溶液よりも凡そ 0.19 ボルト高電位によつて、	窒化鋼は凡そ 0.19 ボルトの高電位を示し、
90	Fig. 21	(下を切斷すべからず)	Fig. 21
93	1	Eh_1-Eh_2 及 Eh_1-Eh_3	Eh_1-Eh_2 及 Eh_2-Eh_3
93	11	(0.15 ボルト) ⁽⁶⁾	(0.15 ボルト) ⁽⁶⁾
93	18	クローム鋼 (Fig. 21)	クローム鋼 (Fig. 26)
(挿入)	93	測定し +0.178 ボルト	測定し最後の値として +0.176 ボルト
(消し)	94	窒化鋼は溶液よりも凡そ 0.19 ボルト高く	窒化鋼は凡そ 0.19 ボルトを示し
94	14	(3) O. Heugstenberg	(3) O. Hengstenberg
94	16	Dissertation Berlín	Dissertation Berlin
94	20	(März 1907),	(März 1907),
94	21	des inclusions	des inclusions
94	22	(août 1921).	(août 1921)
94	24	Gegenmassnahmen	Gegenmassnahmen
94	30	Traus Am.	Trans. am.